

JLVC2012

Japanese Language Variation and Change conference

日時：2012年3月20日（火・祝）9:50-17:45

会場：国立国語研究所 講堂（東京都立川市緑町10-2）

招待講演 10:00-11:00

Peter Trudgill

“Mature linguistic phenomena and societies of intimates”

ポスター発表 11:00-13:00

- 新井文人（神戸松蔭女子学院大学大学院生）
「「い抜き」に係わる言語的・社会的要因の影響度」
- 清水勇吉（徳島大学大学院生）・松田将平（徳島大学学生）
「九州方言の変異と変化－蟹の甲羅、柿のへた、かさぶたの言語地図を例に－」
- 平塚雄亮（大阪大学大学院生）
「高年層のことはからみえてくるもの－福岡市方言を例に－」
- 小野原彩香（同志社大学大学院生）
「岐阜県旧徳山村における地理的ネットワーク分析と言語的距離」
- 大槻知世（東京大学学生）
「津軽方言の推量形式「ビョン」」
- 太田一郎（鹿児島大学）他4名
「日本語方言の音調レベルの変異について」
- 中澤光平（東京大学大学院生）
「淡路島方言におけるアクセントの地域差と歴史－京阪神方言、四国方言との対照－」

口頭発表 13:00-17:35

- ◆下地理則（群馬県立女子大学）
「3点セットの作成－日本の危機方言研究の新たな一歩に向けて」
- ◆大西拓一郎（国立国語研究所）
「言語変化と分布変化」
- ◆田中ゆかり（日本大学）・前田忠彦（統計数理研究所）
「全国方言意識調査の話者分類に基づく地域類型化の試み」
- ◆新野直哉（国立国語研究所）
「「“全然”＋肯定」に関する日本語学研究者の言語規範意識」
- ◆朝日祥之（国立国語研究所）
「移民社会の言語変化研究資料としてのオーラルヒストリー資料」
- ◆真田信治（奈良大学）
「宜蘭クレオール形成とその実態」